

アップル(AAPL)

【セクター】 電子機器

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

スマートフォンの「iPhone」、タブレットの「iPad」、パソコンの「Mac」、腕時計の「Apple Watch」、音楽・映画などがダウンロードできる「iTunes」、音楽ストリーミングの「Apple Music」、決済サービスの「Apple Pay」などの機器やサービスを提供する会社です。地域別の売上構成比は、米州42%、アジア太平洋26%（中華圏19%、その他7%）、欧州24%、日本8%です（17年12月期）。上場企業の中では、売上額、利益額、株式時価総額などで世界最大級です。

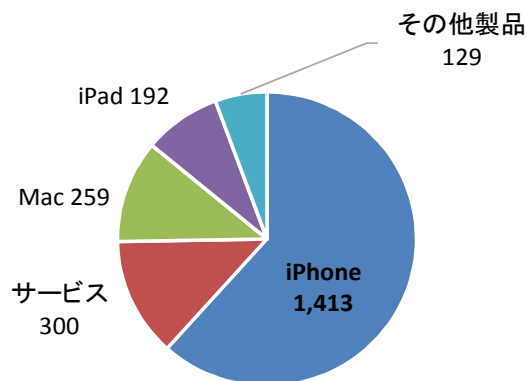
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年9月期	215,639	45,387	8.26	2.18	24.0	36.7	39.9
17年9月期	229,234	47,871	9.12	2.40	26.1	36.5	35.7
18年9月期予想	264,558	59,058	11.79	2.73	21.7	49.0	35.7

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

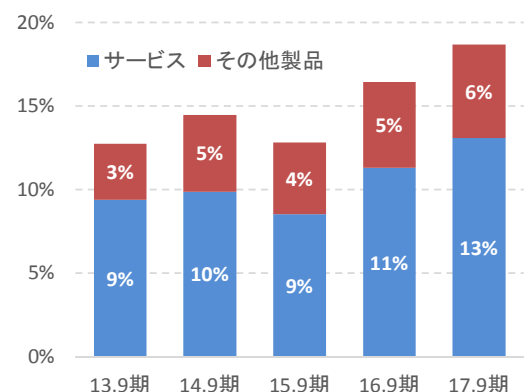
【主要指標】

図表1 売上構成（17年9月期、億ドル）



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 サービスとその他製品の売上構成比



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

売上の約6割を占める主力製品の「iPhone」は、同社独自の基本ソフト「iOS」によるスマホです。17年の世界シェア（出荷台数）は、サムスン電子の21.6%に次ぐ14.7%を占めています。世界のスマホ市場では、先進国を中心に飽和状態となっていますが、その中で同社は単価の上昇によって売上を伸ばせていることがポジティブです。18年4-6月期は、販売台数では前年同期比1%増にとどまりましたが、販売単価が高いiPhoneX（テン）を伸ばして売上は同20%増としています。

【見通し・注目点】

利益率が高い「サービス」と成長性が高いと考えられる「その他製品」の売上構成比の高まりが注目点です。株式市場では、ハードウェア企業のPERは低く、サービス企業のPERは高い傾向がありますが、「サービス」の構成比が高まるとPERが上昇する可能性があるためです。「その他製品」には、「Apple Watch」「AirPods」「Beats」「HomePod」などを含み、今後の売上を牽引する可能性のある製品が含まれているため、こちらも注目です。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/10/10)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。